

事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計(公表)

公表:令和7年3月31日

事業所名:GRIT越谷教室(令和6年4月~令和7年3月)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守しています。	今後も継続していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			利用者の人数によって、職員の配置数を考えている。 利用者に職員配置が十分であるように月のシフトが調整されている。	今後も継続していきます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	事業所内はバリアフリー化が完了しています。	エレベーターが無いため、階段の上り下りで、足の不自由なお子さまにご不便をおかけしております。階段下にインターホンを設置し、階段の上り下りの補助を迅速に行えるようにしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			その日の振り返りを受け入れ時間終了後に行っている。 日々の指導の振り返りを行ってパソコン上にその結果を入力し、職員間で共有できるようにしている。	今後も継続していきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の皆様に事業所評価アンケートのご協力をいただき、業務の改善に努めています。	今後も継続していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所ホームページにて結果を公表しています。	今後も継続していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			株式会社シーサポートによる第三者評価を受けています。結果を業務改善につなげていきます。	今後も継続していきます。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間計画に沿って社内研修を実施しています。	今後も継続していきます。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の活動報告や職員間の会議、保護者面談の内容などを踏まえ、モニタリング・個別支援計画書を作成しています。	今後も継続していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所内で統一したアセスメントシートを使用しています。	今後も継続していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか			○	常勤職員全員が参加するミーティングで立案を行っています。	非常勤職員は、シフト上全体ミーティングに参加できない場合があるので、共有チャットなどを活用し、意見の吸い上げを行っています。

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか			○	お子さまの特性や課題に応じた内容を日々検討しています。	個別療育を中心とした活動を行っているため、お子さまが好む活動で固定化される傾向があります。全体活動を増やすなどして、さまざまな活動への参加を促していきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			お子さまのご家庭や学校での様子を踏まえ、平日、休日、長期休暇の活動内容を設定し支援を行っています。	今後も継続していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画書をもとに、活動内容を検討、設定した上で支援を行っています。	集団への参加に抵抗があるお子さまは、信頼関係を構築した職員が間に入ることで、少しずつ集団への参加ができるように促していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			サービス提供時間前に、当日の職員の役割や動きを相互確認し共有を行っています。	今後も継続していきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			サービス提供時間終了後に、職員間で当日の提供内容を振り返り情報共有を行っています。	日によっては、打合せの時間が取れず、情報共有が翌日以降になってしまうことがあるため、その日の内に情報共有を図るよう徹底します。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回活動記録を入力・保存しています。それをもとに次回以降の支援の方法を検討しています。	今後も継続していきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回を目安に実施しています。その際に個別支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			お子さまが将来的に自立した生活を送るための手助けとなるよう、特性を踏まえた学習支援を行っています。また、創作活動により豊かな発想力を育み、他者との関わりの中では、自己表現とコミュニケーション能力の向上を図っています。	今後も継続していきます。
	関係機関や	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者および支援を担当するスタッフが参画しています。
㉑		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		保護者様、お子さまを通して年間行事等の情報共有を図っています。	保護者様のご要望およびお子さまの状況に応じて、必要な連携を取っていきます。
㉒		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当するお子さまがいらっしゃいませんでした。	必要に応じて、ご利用されるお子さまの主治医、保護者様とご相談をさせていただき、体制を整えていきます。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		児童発達支援事業所から支援内容やお子さまの状況について、情報共有をさせていただいています。	利用されるお子さまの状況(必要性)に応じて、連携を取っていきます。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		サービス担当者会議において、情報共有を図っています。	利用されるお子さまの状況(必要性)に応じて、連携を取っていきます。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修日程に合わせて参加し、日々の支援に繋げています。	今後も継続していきます。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在、実施しておりません。	今後、積極的に参加できるように努めていきます。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	現在、実施しておりません。	今後、積極的に参加できるように努めていきます。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時やご利用後にその日の活動報告をさせていただいています。また、保護者様からのご相談は、口頭その他、電話・LINE等をご活用いただいています。	今後も継続していきます。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		日々のご相談や定期面談の際に、お困りごと等に対してお話をさせていただいています。	保護者様へのアドバイス・支援の質を向上させ、今後も継続していきます。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご契約の際にご説明しています。また、教室にも掲示をしています。	今後も継続していきます。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々のご相談や定期面談の際に、お困りごと等に対してお話をさせていただいています。	今後も継続し、面談以外でもいつでもご相談いただけるような雰囲気や態勢を整えていきます。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、実施しておりません。	今後、保護者のご意見・ご要望を踏まえ検討していきます。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情をいただいた際は、社内のフローに従って迅速かつ適切に対応しています。	今後も継続していきます。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			事業所ホームページのブログや毎月のお便りにて活動の様子を報告しています。	今後も継続していきます。
	㉜	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報書類は、鍵付き棚で保管しています。また、教室内の全PCにはパスワードを設定しています。	今後も継続していきます。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子さまの特性に合わせた情報伝達手段を使用するようにしています。	今後も継続していきます。
	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在、実施しておりません。	今後、保護者のご意見・ご要望を踏まえ検討していきます。

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		事業所内でそれぞれのマニュアルを策定し職員間で共有しています。	毎月のお便り等で案内に努め、保護者様への周知に注力していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回、避難訓練を実施しています。	今後も継続していきます。
	㉒	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応しているか	○		事業所内でマニュアルを作成し、研修を行っています。	今後も継続していきます。
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		お子さまが安全に教室をご利用いただけるよう、事業所が作成したマニュアルで対応方を定めています。	今後も継続していきます。
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在、食事・おやつの提供を行っていません。	今後も提供を行う予定はありません。
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例が発生した際は、報告書を作成し、職員間で共有を行います。同様の事象が発生しないよう、定期的な研修で再共有します。	今後も継続していきます。

○上記「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表 集計(公表)

公表:令和7年3月31日

事業所名:GRIT越谷教室(令和6年度)

※令和7年3月アンケート実施 回答数21

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	5	0	・料理、運動なども取り入れて欲しいです。勉強以外の体験もさせたいです。 ・軽く体を動かして遊べるスペースがあるといいなと思う。	活動の種類を増やせるように、学習スペースと療育スペースのバランスを考慮して、スペースを最大限に利用します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	3	0	・無理強いをしない方針に納得していますが、何時から始めても1時間は学習に当てているかみてもらいたいです。 ・常時何人いるかわからないから。	目標に向けて取り組んでもらう得るように、お子さまの様に合わせ、工夫しながら進めていきます。 職員の支援体制について丁寧にご案内します。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	8	3	・外階段になので滑り止めがあると安心です。 ・設備はどうにもできないところがありますが、先生方ができる限りの配慮をしてくださり安心して通えています。ありがとうございます。	階段に滑り止めシートを取り付けます。 事業所がある2階までの階段が急で入口付近が狭い構造のため、職員が階段下までの送迎を適宜実施し、安全確保に努めます。
適切な支援提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス個別支援計画が作成されているか	20	1	0	・子供の気持ちに波があるが、メリハリをつけて取り組ませただけだと良い。 ・面談の時などにプリントにまとめて報告が欲しいです。見返すため。	メリハリを持って取り組めるように、お子さまと一緒に予定表の作成をしっかりと行っていきます。 個別支援計画書の補足資料としてお渡しできるものを作成します。
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	17	3	1	・高い頻度でタブレットでゲームをして療育時間を過ごしているイメージがあります。 ・同じ様なプリントの繰り返しに不安を覚えます。色々な角度からアプローチするプリントを検討して頂けると嬉しいです。	学習後の療育時間における活動内容が固定化されないよう、職員から様々な提案を行っていきます。 お子さまの特性等に合わせた教材を準備し、スモールステップで進めていきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	8	9	・特に必要ないかと思っています。 ・他の子と関われるように行事を作って欲しいです。	お子さまが集まる他の施設と交流が持てないか検討します。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	1	0		引き続き丁寧な説明を心掛けていきます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	0	0	・指導中どんなやり取りがあったか詳しくHUGにて伝えてくださるところが気に入っています。	今後もHUGやLINE等のシステムを有効活用し、お子さまの情報を分かりやすく丁寧にお伝えしていきます。

保護者への説明等	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	0	0	・プリントにまとめてわかりやすくして欲しいです。	個別支援計画書の補足資料としてお渡しできるものを作成します。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要3	8	不要10	・そんな機会があると良い。 ・悩みや分かり合える仲間が親としては欲しいです。	ご要望の数に応じて、保護者様同士で交流できるイベント等の実施を検討します。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	2	1	・路駐している保護者に駐車場に停めるよう伝えてもらいたいです。駐車場へ渡るときに視界を遮るので。 ・今のところ苦情等はないですが、その他のことでも対応して頂いています。	苦情や要望をいただいた内容について、継続して対応を行っていきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	1	0		引き続き、お子さまの様子を保護者様に正確に伝え、事業所との意思疎通に齟齬が生まれないよう注意します。また、お子さまの意思決定を支援していきます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	4	1		LINEグループや教室ホームページにて発信していきます。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	20	1	0		引き続き個人情報の取り扱いに注意します。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	4	1	・防災訓練や感染症対策はあまりしていない印象。	定期的な保護者面談の際に、教室内に掲載している各種マニュアルのご案内を心掛けます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	14	2	・最悪の事態が起きたとき、どうしたらいいか？アイデアを出し合う時間をつくってほしい。	年2回の避難訓練をの内容を踏まえ、お子さまだけでなく、保護者様へも避難訓練の内容および設備等について案内を行い、意見を伺っていきます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	17	4	0	・家でゆっくりできるから、勉強をする気になるから。 ・思春期に入り、ディへ行くことの意義と本人の気持ちがかみ合っていないときがあるのかなと思います。 ・今は学習に拒否が出ているため通えていない。	お子さまに通所したいと思ってもらえるような教室を目指し、お子さまの状況に合わせた活動内容を考えていきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	21	0	0	・送迎があれば助かります。	ご要望の数を考慮し、社内で検討をしていきます。

○上記「保護者等向け放課後等デイサービス評価表 集計(公表)」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所自己評価シート(令和6年度)

公表:令和7年3月31日

職員による自己評価

A環境面

- ・職員配置の基準を満たしている。
- ・事業所が階段のみの2階にある為、バリアフリー設備が完全ではない。

B業務改善

- ・第三者による外部評価や保護者アンケートを有効活用し、支援の質の向上を図っている。

Cお子さまへの支援内容

- ・将来の自立した生活に向け、特性を踏まえた学習支援を行っている。
- ・創作活動により豊かな発想力を育み、他者との関わりの中では、自己表現とコミュニケーション能力の向上を図っている。
- ・個別療育を中心とした活動を行っているため、お子さまが好む活動で固定化される傾向がある。

D関係機関や保護者様との連携

- ・公式LINE等の機能を用いて、保護者様との連携を密に取っている。
- ・相談支援事業所以外の関係機関と連携する機会が少ない。

E保護者様への説明責任・信頼関係

- ・専用システムを用いて活動記録を報告している。
- ・公式LINEを用いて、保護者様からの相談に応じている。
- ・GRIT便りを毎月発行し、教室の様子や職員の紹介等を行っている。

F非常対応

- ・年間計画に沿って、避難訓練等を実施し、非常時の対応について研修を行っている。

保護者様による評価

A環境面

- ・料理、運動なども取り入れて欲しいです。勉強以外の体験もさせたいです。
- ・軽く体を動かして遊べるスペースがあるといいなと思う。
- ・無理強いをしない方針に納得していますが、何時から始めても1時間は学習に当てているかみてもらいたいです。
- ・職員が常時何人いるかわからない。
- ・外階段になるので滑り止めがあると安心です。
- ・設備はどうにもできないところがありますが、先生方ができる限りの配慮をしてくださり安心して通えています。ありがとうございます。

Bお子さまへの支援内容

- ・子供の気持ちに波があるが、メリハリをつけて取り組ませていただけると良い。
- ・面談の時などにプリントにまとめて報告が欲しいです。見返すため。
- ・高い頻度でタブレットゲームをして療育時間を過ごしているイメージがあります。
- ・同じ様なプリントの繰り返しに不安を覚えます。色々な角度からアプローチするプリントを検討して頂けると嬉しいです。
- ・事業所外の施設との交流は、特に必要ないかと思っています。
- ・他の子と関わられるように行事を作ってください。
- ・指導中どんなやり取りがあったか詳しくHUGにて伝えてくださるところが気に入っています。

C保護者様への説明等

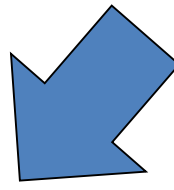
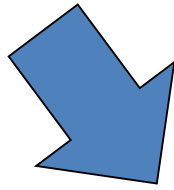
- ・保護者の交流機会があると良い。
- ・悩みや分かり合える仲間が親としては欲しいです。あるとうれしい。
- ・路駐している保護者に駐車場に停めるよう伝えてもらいたいです。駐車場へ渡るときに視界を遮るので。
- ・今のところ苦情等はないですが、その他のことでも対応して頂けています。

D非常対応

- ・防災訓練や感染症対策はあまりしていない印象。
- ・最悪の事態が起きたとき、どうしたらいいか?アイデアを出し合う時間をつくってほしい。

E満足度

- ・家でゆっくりできるから、勉強をする気になるから。
- ・思春期に入り、ディへ行くことの意義と本人の気持ちがかみ合っていないときがあるのかなと思います。
- ・今は学習に拒否が出ているため通えていない。
- ・送迎があれば助かります。



事業所内での分析

★職員による自己評価と保護者様による評価

【共通点】

- ・建物にバリアフリー設備が十分に備わっていない。
- ・療育活動が固定化される傾向にある。

【相違点】

- ・療育時間における活動内容について、保護者様の要望を反映しきれていない。
- ・避難時対応マニュアルの共有が十分になされていない。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・公式 LINE のアプリを活用することで、教室と保護者様との連絡がしやすい環境を整えている。
- ・お子さまが持参した宿題のサポートに加え、特性に合わせた専用教材で分析を行っている。
- ・それぞれの保護者様からのニーズに、個別具体的に応じながら支援を行っている。

事業所の改善点

- ・バリアフリー設備で改良の余地がある。
- ・療育活動が固定化される傾向にある。
- ・保護者様に対して、避難時対応マニュアルの共有が十分になされていない。

事業所の改善への取り組み

- ・バリアフリー設備で改良の余地がある個所の対応を行う。構造上の不備は、職員がきめ細かな補助を行う。
- ・全体活動の時間を増やし、利用者に様々な活動の機会を提供していく。
- ・GRIT 便りや公式 LINE 等を用いて、非常時の対応訓練の様子などを発信していく。また、定期的な保護者面談の際に、教室内に掲載している各種マニュアルのご案内を心掛ける。

～自己評価を行って、事業所としての感想など～

保護者の皆様、アンケートにご協力いただきありがとうございました。GRIT 越谷教室が開所し丸4年が経過しました。皆様のお力添えのおかげで、毎日無事に支援を行うことができています。新年度以降も、学校休業日の全体活動など、お子さま同士の楽しい関わりが増えるように、様々な活動を取り入れていきます。また、保護者様と密に連携を取りながら、一人ひとりの状態に合わせた学習ニーズに応えていきます。今後とも引き続きよろしくお願いいたします。